

# T

## 創立20周年 戸塚混声合唱団 第11回演奏会

2005年9月19日(月・祝) 鎌倉芸術館大ホール

主催：戸塚混声合唱団  
後援：神奈川県合唱連盟／戸塚文化協会

### ごあいさつ

今日は、私たち戸塚混声合唱団の創立20周年第11回演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

合唱をこよなく愛するメンバーが戸塚の地に相集い、歌い始めてから早20年、団として二十歳の成人式をこの鎌倉芸術館という大舞台で迎えることができましたのも、ひとえに指導者の先生方の溢れる熱情と、本日ご来場くださった皆様をはじめ多くの支援者の温かい励ましのおかげと、団員一同心より感謝しております。

特に今回は、すばらしいお二人のソリストをお迎えし、40余年の伝統ある鎌倉交響楽団との初共演により、大曲「ドイツ・レクイエム」に取り組む機会を与えられましたのも、私たち団員にとっては大変ありがたく喜ばしいことでもあります。

私自身、入団満4年の新参者ですが、今、幸せて貴重な時間を73人の個性豊かな仲間たちと共有しています。私にとって毎週土曜夜の練習の2時間45分は、今や何事にもかえがたい至福の時間です。毎年行っている1泊2日の合宿で12時間も合唱の練習をすることなど、これまでの私の50年の人生では考えられない異体験でした。今まで味わったことのないクラシック音楽の楽しさ、奥深さを教えてくれたのは、指揮者の星野先生はもちろんのこと、ピアニストであり、またこの戸塚混声合唱団の仲間とそのハーモニーでした。

お喋りが過ぎましたね。どうか最後までごゆっくりご鑑賞ください。三部構成のそれぞれの曲目はどれもチャレンジングなものばかりです。団員一同心を一つにして歌いますので、ご好評を賜われれば幸いです。

第11回演奏会実行委員長 渡部 博道



演奏会に寄せて

戸塚混声合唱団第11回演奏会へようこそいらっしゃいました。自称音楽面の裏方である副指揮者の立場で語る紙幅を与えられましたので、以下ひとくさり・・・。

プログラムの紙面にある通り、休憩を挟んで前半は日本語の歌詞による邦人作品、後半はドイツ語によるブラームスのレクイエムをお届けします。

「これは知っている！」という点では、第1ステージの「日本抒情歌曲集」が耳に入り易いということになりますが、いわゆる編曲モノであっても“作曲家”林光氏の手になるもの故に斬新な響きや遊び心が随所に仕込まれており、メロディーだけでなく、ハーモニーやピアノパートにも注目しながらお聴き戴くと一層楽しめるかと思えます。

第2ステージの「動物詩集」は当代名うでの作曲家三善見氏が「妖怪／妖艶」なる白石かずこ氏の詩を楽しみながら作曲されたものです。反骨の人、タブーへの挑戦、野生人というようなキャッチコピーが似合う白石氏も2000年には紫綬褒章を受けられたとかで、日本の受入れ容量を増やしたのは、詩人の力量か役人の頭かということになりますが、詩はアイロニーたっぷりなこともあって、一回の視聴で詩の意味も含めて音楽が心に届いた方がいらしたとしたら尊敬の眼差しを贈ります。団員とはいえば、2曲目に多少ほっとしながらも本ステージを瞬時に駆け抜けることでしよう。

第3ステージのブラームスのレクイエムは鎌倉交響楽団の賛助出演を得て、重厚な響きに支えられながらお届けすることとなります。原題が「ドイツ語によるレクイエム」というだけあって、ブラームスにとっての同国人が言葉に対して構えることなく音楽に入り込み易くしようという配慮が働いているようですが、日本人にはドイツ語もラテン語と同じ作用しかしないのは作曲者の意図からすると残念なところです。(対訳は、字幕でお伝えする予定です) 只、一般教養のレベルでもお聞き及びであろう「悲しむものは幸いなり」「肉体は草の如く、人間は草花の如く朽ち果てる」「ああ、人はただ影のように移ろうもの」というようなベシミスティックな文言の間に「主よ、あなたのおわすところはなんと愛に満ちていることでしよう」とか「母がその子を慰めるように、わたしはあなたたちを慰める」とか「彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る」というような肯定的な詩句が続き、音楽全体としては、今生き残ったものたちを慰撫する響きで包み込みます。

ブラームスの人となりは、最愛の友人であるクララ（シューマン夫人）をも時として嘆かせるほどに非社会的で偏屈なところがあったようですが、音楽の深みの中に韜晦（とうかい）することで後世の我々をも魅了して止まない暖かさを現出しています。

今日、皆様会場に足を運ばれた動機は様々としましても、カーテンコールが終了する頃にはひとしなみに幸福感を抱かれて帰途に付いて戴けるよう、誠心誠意、ないしは無心でもって演奏に臨みたいと思います。宜しく、ご静聴下さい。

浅井 敏信 (団内指揮者)

第1ステージ

指揮 星野 聡  
ピアノ 矢野 円佳

日本抒情歌曲集より

編曲 林 光

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1) ゴンドラの唄   | 作詩 吉井 勇  | 作曲 中山 晋平 |
| 2) 中国地方の子守歌 | 日本古謡     | 作曲 山田 耕作 |
| 3) かやの木山の   | 作詩 北原 白秋 | 作曲 山田 耕作 |
| 4) 早春賦      | 作詩 吉丸 一昌 | 作曲 中田 章  |

第2ステージ

指揮 星野 聡  
ピアノ 矢野 円佳

混声合唱とピアノのための動物詩集

作詞 白石かずこ 作曲 三善 晃

- 1) 小猫のピッチ
- 2) ひとこぶらくだのブルース
- 3) ゴリラのジジ

・♪・♪・♪・♪・♪・♪・ 休 憩 ・♪・♪・♪・♪・♪・♪・

第3ステージ

指揮 星野 聡  
オーケストラ 鎌倉交響楽団  
ソプラノ 星野 尚子  
バス・バリトン 成田 眞

ドイツ・レクイエム

Ein deutsches Requiem op.45

J.ブラームス  
Johannes Brahms

- I) Selig sind, die da Leid tragen (悲しんでいる人たちは幸いである)
- II) Denn alles Fleisch, es ist wie Gras (人はみな草のごとく)
- III) Herr, lehre doch mich (主よ、わたしに知らせて下さい)
- IV) Wie lieblich sind deine Wohnungen (あなたのすまいはいかに美しいことでしょう)
- V) Ihr habt nun Traurigkeit (このように、あなたがたにも今は不安がある)
- VI) Denn wir haben hie keine bleibende Statt (この地上には永遠の都はない)
- VII) Selig sind die Toten, die in dem Herrn sterben (主にあって死ぬ人は幸いである)

プロフィール

星野 聡 <常任指揮者>



国立音楽大学ピアノ科卒業。在学中より声楽の伴奏を中心に演奏活動をする。卒業後、声楽に転向。二期会オペラスタジオ、東京芸術大学声楽科に学び、東京芸術大学大学院オペラ科を修了。現在二期会会員。日本演奏連盟会員。日本声楽アカデミー会員。「ドン・ジョヴァンニ」「ラ・ボエーム」「カルメン」「こうもり」等、数多くのオペラに出演し好評を博している。近年では、NHK交響楽団定期、ヘンツェ「ヴィーナスとアドニス」、東京交響楽団・斎藤邦太郎「古事記」、東京シティフィル定期・メンデルスゾーン「聖パウロ」などに出演、ソリストとして信頼を集めている。芸大在学中より数多くの合唱団の指導に携わり指揮者としての活動を始めるなか、戸塚混声合唱団との出会いがあり、2000年7月の合唱団第八回演奏会より出演している。

今回、指揮者の家田厚志先生のご尽力により伝統ある鎌倉交響楽団との共演が実現する運びとなり、新たな挑戦の一步を踏み出すこととなる。

星野 尚子 <ソプラノ>



大分県立芸術短期大学を経て、東京芸術大学及び同大学院オペラ科に学ぶ。宮本修、浅野久子、伊原直子各氏に師事。二期会オペラスタジオ第39期を修了。修了時に優秀賞を受賞。第59回読売新人演奏会出演。第38回西日本出身新人紹介演奏会にて西日本新聞社賞受賞。第32回日伊声楽コンクール入選。芸大在学中に東京芸術大学オペラプロジェクト公演「ドン・ジョヴァンニ」のドンナエルヴィーラ、東京芸術大学定期公演「フィガロの結婚」のケルビーノ役に出演。1996年に「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルディリージで二期会オペラにデビュー。その後「フィガロの結婚」伯爵夫人、「魔笛」パミーナ、侍女1、パバゲーナ、「ラ・ボエーム」ミミ、「カルメン」フラスキータ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナアンナ、「蝶々夫人」タイトルロール等に出演。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。

成田 眞 <バス・バリトン>



名古屋出身。愛知教育大学教育学部を経て、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院終了。声楽を中川牧三、畑中良輔、小野光子、平野忠彦、カルロ・メリチャーニの各氏に師事。コンサート・ソリストとしての活動は、'90年、チャイコフスキー生誕150周年記念演奏会（東京、神戸）、'91年、プロコフィエフ生誕100周年記念演奏会、「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ、デュルフレ「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」等と学生時代より活躍の場を広げ、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「ロ短調ミサ」、ハイデン「四季」、モーツァルト「ハ短調ミサ」「戴冠ミサ」、ロッシニ、ドヴォルザーク「スターバト・マテル」、ベートーヴェン、ベルリオーズ「ミサ・ソレムニス」等、数多くの演奏会に出演。

オペラに於いては、'95年芸大オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ役で出演。その後同年、横浜シティ・オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」レボレッロ役で本格的オペラ・デビューをし、これまでに「フィガロの結婚」フィガロ、バルトロ、「魔笛」パバゲーノ、「ラ・ボエーム」マルチェッロ、コッリーネ、「トスカ」スカルピア、「トゥーランドット」ティムール、「アイダ」国王、等出演。二期会本公演に於いては'02年「椿姫」医者、「03年「カルメン」スニガを。大野和士指揮・東京フィル「オペラ・コンチェルト」シリーズ」では、プリテン「ビーター・グライムズ」ホブスン、R. シュトラウス「無口な女」ヴァスツィ、ツェムリンスキー「王女様の誕生日」ドン・エストバン、ヴェルディ「オテロ」モンターノに出演。幅広いレパートリーを手掛けている。

また、「魔笛」武士、「ドン・ジョヴァンニ」騎士長、マゼット、「ジャンニ・スキッキ」シモーネ、「ファルススタッフ」ピストーラ、「エクストラ」老いた下僕、を小澤征爾氏と共演。「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」にも定期的に出演している。

'96、'97年には、シドニー・オペラ・ハウスに於いての「第九」バス・ソロに招かれ渡豪、海外に披露され好評を博した。日本・ロシア音楽家協会会員、日本体育大学・同女子短期大学講師。二期会会員。

矢野 円佳 <ピアニスト>



1997年 国立音楽大学ピアノ科卒業。  
現在、音楽教室でピアノ講師を務める。  
館美佐子、和田泉、篠井寧子の各氏に師事。  
1998年より戸塚混声合唱団のピアニストを務めている。

鎌倉市民によるアマチュア管弦楽団として昭和38年に発足、現在団員120名を超える。  
春と秋の定期演奏会、3月のファミリーコンサート、12月に鎌倉市民第九コンサート（芸術館主催）、鎌倉市の幼稚園協会による園児のための演奏会の他、年2回の室内楽演奏会などを継続して行なっている。

平成11年には、鎌倉・萩姉妹都市提携20周年を記念して両市で第九演奏会を、平成14年には団創立40周年記念演奏会を春・秋2回開催、昨年7月には、鎌倉合唱連盟40周年記念イベントに賛助出演を行なった。

団員の年齢層が学生から高齢者まで幅広く、職業も東京・横浜への通勤者、主婦、医師、教員と多彩であることが特徴であるが、近年はクラシックの古典に加え近現代の基本的な作品にも計画的に挑戦するとともに、地元に着目した活動により力を入れるなど、音楽文化のリード役としての活動を志している。

1st Violin

青柳 由紀  
井上 康男  
遠藤 勝智  
小原 治子  
河原 寛  
桐本 圭三  
五味 品子  
五味 俊哉  
高橋けい子  
富岡 陽子  
中村 順子  
廣木 孝嗣  
山岡 祐介

2nd Violin

新井 俊成  
石橋 智子  
宇多 綾子  
大谷多満江  
白水 千晶  
菅井 直介  
曾根 民子  
高橋 良子  
若山 五郎  
蛸島 茂樹  
徳田みずえ  
中橋美木子  
馬場 潔子  
八木 育江

Viola

簇島 純子  
小原 克馬  
梶 成彦  
梶原 庸子  
佐々木敬史  
中川 孝之  
中村 恵  
正木 基生  
三門サカエ  
水上 清  
宮下 重美  
武藤 誠

Cello

飯田 達男  
尾崎 彩  
梶 淳子  
佐藤 洋子  
重兼 寿夫  
鈴木 達広  
中井 良樹  
西山 優子  
若山 五郎

Bass

大内 達郎  
佐藤 正  
中村 安孝  
丸 陽子  
矢野 健  
渡辺 均

Piccolo&Flute

高橋 弘子  
山田美奈子  
吉田 龍夫

Oboe

山岡 一哉  
山本 賢二

Clarinet

片山真知子  
鈴木 美緒

Bassoon

鹿倉 健太  
松本 祐子  
矢吹 紀子

Horn

白井 賢司  
福地 亜希  
宮崎 敏幸  
山崎 和之

Trumpet

津金 勝枝  
福地 稔榮  
森 久仁子

Trombone&Tuba

有賀 功  
桜井 貴志  
府川 創作  
煤孫さえ子

Timpani

今城 信彦

Harp

杉山 敦子\*

(\*賛助出演)



プログラムノート

混声合唱による「日本抒情歌曲集」

林光編曲の「日本抒情歌曲集」は、1964年から1975年にかけて東京混声合唱団のために書かれたもので全20曲からなる。

どの曲をとっても日本の名曲として今も歌い継がれている愛唱歌であるが、林の編曲は原曲の持つ良さを充分生かしつつ、且つ現在から未来にもつながる不変的な新鮮さを感じさせる。

また、ピアノパートはたんなる伴奏というより協奏にちかいもので、中でも今回演奏する「早春賦」はモーツァルトを彷彿とさせ、カデンツァの部分を含む一部は出版後にピアノのために変更されたものによる演奏である。

混声合唱とピアノのための「動物詩集」

この曲は1978年女声合唱団「コーロ・フィオーレ」(指揮者:村上緑)のデビュー・コンサートのために書かれた女声合唱とピアノのための「ゴリラのジジ」に始まる。このとき、白石かずこの「動物詩集」による組曲を構想していた三善は、その後「小猫のピッチ」と「ひとこぶらくだのブルース」を書き加えこの曲を書き上げた。

初演は1983年、日本合唱協会創立20周年記念演奏会で増田順平の指揮により演奏され、その翌年に初演された女声合唱曲とともに、今日まで多くの合唱団により演奏されている。

作詩者白石かずこは1931年カナダのバンクーバーに生まれ、早稲田大学文学部を卒業。人間の聖なる部分と俗なる部分を併せ詩うスケールの大きな詩人として知られる。朗読でも活躍し世界各国の詩祭に招かれている。

この「動物詩集」は、現代人の多くが失い忘れかけている人間の根源的なものを、小猫、らくだ、ゴリラによって歌いかけてくる。

「ドイツ・レクイエム」

「ドイツ・レクイエム」が1868年4月10日ブレーメンの大聖堂で初演され(第5曲を除く)、その圧倒的な成功によりブラームスは大作作曲家として広く世に認められるようになった。レクイエムは本来カトリック教会で死者のためにとり行われるラテン語のミサのことで、つまりもともと死んだ人の霊を鎮め慰め、死者に永遠の安息を与えることを祈る音楽である。しかしこの「ドイツ・レクイエム」はマルティン・ルターがドイツ語に訳した1537年版の新約と旧約の聖書および旧約続篇からブラームス自身が自分の意志で選び出したものであり、死者のためというより、死によって後に残った悲しめる人に呼びかけてその人たちに慰めを与えようとする、という死に対する彼の深い思いが託されているのである。そしてこの曲はカトリック教会の正式のレクイエムのために演奏されるべきものではなく、演奏会用のためのものである。

曲は7つの楽章からなり、各曲の配列は第4楽章合唱「万軍の主よ、あなたの住いはいかに麗しいことでしょうか」を中心として大きなシンメトリーを形作り、

第1楽章「悲しんでいる人たちは幸いである」と、第7楽章「今から後、主にあって死ぬ人は幸いである」

第2楽章「人はみな草のごとく」と、第6楽章「この地上には永遠の都はない」

第3楽章「主よ、知らせして下さい」と、第5楽章「このようにあなたがたにも今は不安がある」

というように対応させて、音楽的にも内容的にも独特な設計でまとめあげている。

最初に記したように、第5曲目だけは1865年1月31日ブラームス32才のとき最愛の母を失い、それが契機となり、おそらく母親への特別な思い出のために追加されたと思われる。ソプラノ独唱が加わり悲しめるものは慰められるであろうという思いが表面に出て母性愛的なやさしさにあふれているのである。

I

Chor

Selig sind, die da Leid tragen:  
denn sie sollen getröstet werden.

(Matthäus 5,4)

Die mit Tränen säen,  
werden mit Freuden ernten.

(psalm 126,5)

Sie gehen hin und weinen  
und tragen edlen Samen  
und kommen mit Freuden  
und bringen ihre Garben.

(psalm 126,6)

II

Chor

Denn alles Fleisch ist wie Gras,  
und alle Herrlichkeit des Menschen  
wie des Grases Blumen.  
Das Gras ist verdorret  
und die Blume abgefallen.

(1 Petrus 1,24)

So seid nun geduldig, lieben Brüder,  
bis auf die Zukunft des Herrn.  
Siehe, ein Ackermann wartet  
auf die köstliche Frucht der Erde  
und ist geduldig darüber, bis er empfahe  
den Morgenregen und Abendregen.  
So seid geduldig.

(Jakobus 5,7)

Denn alles Fleisch es ist wie Gras  
und alle Herrlichkeit des Menschen  
wie des Grases Blumen.  
Das Gras ist verdorret  
und die Blume abgefallen.  
Aber des Herrn Wort  
bleibet in Ewigkeit.

(1 Petrus 1,24)

Die Erlöseten des Herrn  
werden wiederkommen  
und gen Zion kommen mit Jauchzen;  
ewige Freude wird über ihrem Haupte sein;  
Freude und Wonne werden sie ergreifen,  
und Schmerz und Seufzen wird weg müssen.

(Jesaja 35,10)

合唱

悲しんでいる人たちは幸いである。  
彼らは慰められるであろう。  
(マタイによる福音書:第5章 第4節)

涙をもって種まく者は、  
喜びの声をもちて刈り取る。

(詩篇:126篇 第5節)

種を携え、涙を流して  
出ていく者は、  
束を携え、喜びの声をあげて  
帰ってくるであろう。

(詩篇:126篇 第6節)

合唱

人はみな草のごとく  
その栄華はみな  
草の花に似ている。  
草は枯れ、  
花は散る。

(ペテロの第1の手紙:第1楽章 第24節)

だから、兄弟たちよ。  
主の来臨の時まで耐え忍びなさい。  
見よ、農夫は、  
地の尊い実りを、  
前の雨と後の雨とがあるまで、  
耐え忍んで待っている。  
耐え忍びなさい。

(ヤコブの手紙:第5章 第7節)

人はみな草のごとく  
その栄華はみな  
草の花に似ている。  
草は枯れ、  
花は散る。  
しかし、主の言葉は、  
とこしえに残る。

(ペテロの第1の手紙:第1楽章 第24節)

III

Bariton und Chor

Herr, lehre doch mich,  
daß ein Ende mit mir haben muß,  
und mein Leben ein Ziel hat,  
und ich davon muß.

(psalm 39,4)

Siehe, meine Tage sind einer Hand  
breit vor dir,  
und mein Leben ist wie nichts vor dir.

(psalm 39,5)

Ach, wie gar nichts sind alle Menschen,  
die doch so sicher leben.  
Sie gehen daher wie ein Schemen  
und machen ihnen viel vergebliche Unruhe,  
sie sammeln und wissen nicht,  
wer es kriegen wird.  
Nun, Herr, wes soll ich mich trösten?  
Ich hoffe auf dich.

(psalm 39,6-7)

Der Gerechten Seelen sind in Gottes Hand,  
und keine Qual rührt sie an.

(Weisheit Salomos 3,1)

IV

Chor

Wie lieblich sind deine Wohnungen,  
Herr Zebaoth!  
Meine Seele verlangt und sehnet sich  
nach den Vorhöfen des Herrn;  
mein Lieb und Seele freuen sich  
in dem lebendigen Gott.

(psalm 84,1-2)

Wohl denen, die in deinem Hause wohnen,  
die loben dich immerdar.

(psalm 84,4)

V

Soprano und Chor

Ihr habt nun Traurigkeit;  
aber ich will euch wieder sehen,  
und euer Herz soll sich freuen,  
und eure Freude soll niemand  
von euch nehmen.

(Johannes 16,22)

## バリトン独唱、合唱

主よ、わが攀わりと  
わが日の数のどれほどであるかを  
わたしに知らせ、わが命のいかに  
はかないかを知らせてください。

(詩篇：第39篇 第4節)

見よ、あなたはわたしの目を  
つかの間とされました。  
わたしの一生はあなたの前では無にひとしいのです。

(詩篇：第39篇 第5節)

まことにすべての人はその盛んなときでも、  
息にすぎません。  
まことに人は影のようにさまよいます。  
むなしいことのために騒ぎまわるのです。  
彼は積みたくわえるけれども、  
だれがそれを取めるかを知りません。  
主よ、今わたしは何を待ち望みましょう。  
わたしの望みはあなたにあります。

(詩篇：39篇 第6~7節)

正しい者の魂は神のみ手にあって、  
いかなる責苦も彼らに届くことはない。

(旧約編：ソロモンの智慧：第3章 第1節)

## 合唱

万軍の主よ、あなたのすまいは  
いかに麗しいことでしょう。  
わが魂は絶えいるばかりに  
主の大庭を慕い  
わが心とわが身は  
生ける神にむかって喜び歌います。

(詩篇：第84篇 第1~2節)

あなたの家に住み、  
常にあなたをほめたたえる人は幸いです。

(詩篇：第84篇 第4節)

## ソプラノ独唱、合唱

このように、あなたがたにも今は不安がある。  
しかし、私は再びあなたがたと会うであろう。  
そして、あなた方の心は喜びに満たされるであろう。  
その喜びをあなたがたから、  
取り去る者はない。

(ヨハネによる福音書：第16章 第22節)

Sehet mich an;

Ich habe eine kleine Zeit  
Mühe und Arbeit gehabt  
und habe großen Trost funden.

(Jesus Sirach 51,27)

Ich will euch trösten,  
wie einen seine Mutter tröstet.

(Jesaja 66,13)

## VI

## Bariton und Chor

Denn wir haben hie keine bleibende Statt,  
sondern die zukünftige suchen wir.

(Hebräer 13,14)

Siehe, ich sage euch ein Geheimnis:

Wir werden nicht alle entschlafen,  
wir werden aber alle verwandelt werden;  
und dasselbige plötzlich, in einem Augenblick,  
zu der Zeit der letzten Posaune.  
Denn es wird die Posaune schallen,  
und die Toten werden auferstehen  
unverweslich,  
und wir werden verwandelt werden.  
Dann wird erfüllet werden  
das Wort, das geschrieben steht;  
Der Tod ist verschlungen in den Sieg.  
Tod, wo ist dein Stachel?  
Hölle, wo ist dein Sieg?

(1 Korinther 15,51-55)

Herr, du bist würdig, zu nehmen  
Preis und Ehre und Kraft,  
denn du hast alle Dinge geschaffen,  
und durch deinen Willen haben sie das Wesen  
und sind geschaffen.

(Offenbarung Johannes 4,11)

## VII

## Chor

Selig sind die Toten,  
die in dem Herrn sterben,  
von nun an.  
Ja, der Geist spricht,  
daß sie ruhen von ihrer Arbeit;  
denn ihre Werke folgen ihnen nach.

(Offenbarung Johannes 14,13)

眼をもって見よ。

いかにわたしが少く労して  
わたしのために  
多くの休みを得たかを。

(旧約編：ベン・シラの智慧：第51章 第27節)

わたしもあなたがたを慰める。  
母のその子を慰めるように。

(イザヤ書：第66章 第33節)

## バリトン独唱、合唱

この地上には永遠の都はない。  
きたらんとする都こそ、わたしたちの求めているものである。  
またたく間に

(ヘブル人への手紙：第13章 第14節)

ここで、あなたがたに奥義を告げよう。  
わたしたちすべては、眠り続けるのではない。  
終わりのラッパの響きと共に、  
またたく間に  
一瞬にして変えられる。  
というのは、ラッパが響いて、  
死人は朽ちない者に  
よみがえらされ、  
わたしたちは変えられるのである。  
そのとき、聖書に書いてある  
言葉が成就するのである。  
「死は勝利に吞まれてしまった。  
死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。  
死よ、おまえのとげはどこにあるのか?」

(コリント人への第1の手紙：第15章 第51~55節)

われらの主なる神よ、あなたこそは、  
栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。  
あなたは万物を造られました。  
御旨によって、万物は存在し、  
また造られたのであります。

(ヨハネの黙示録：第4章 第11節)

## 合唱

今から後、  
主にあって死ぬ人は  
幸いである。  
御霊も言う、  
「しかり、彼らはその労苦を解かれて休み  
そのわざは彼らについていく。」

(ヨハネの黙示録：第14章 第13節)

1)

## 小猫のピッチ

小猫のピッチは

黒い

黒い 黒い すばしこい

牡猫 泥棒猫 迷子猫

だが ピッチは

利口な 孤独な やくざな

独立心強い猫

小鳥がおそわれたからといって

それは ピッチのせいじゃない

木の上に とまってる

空 とんでる 鳥の方が

まぬけなのサ

ピッチの狩獵は

豹のように正確

時間 スピード 射的

すべては 神技の一瞬

この本能を

才能を

罪と よぶべきではありません

2)

## ひとこぶらくだのブルース

夕暮の動物園で

ひとこぶらくだが みたものは

みたとおもったのは

遠い 遠い 消えかかる 記憶

の むこうの 自由の国

愛という 美味しい欲情

ふたたび みることのない

育ちのよい メスたち

ここには 沙漠も

闘争も 友も 恋もなく

日がな一日つづくのは

ながい ながい 時間と孤独

ロンリーな

ひとこぶらくだがおりました

3)

## ゴリラのジジ

ゴリラのジジに

愛されるなんて

思ったこともなかったのです

わたし ジジが好きでした

ジジは アグリーだけど

心は とってもきれい

生一本で 妙に律義で

激しいのに やさしいところあるし

でも ジジが

とても好きだったのは

ただの友だちだったとき

ジジが わたしに

恋を打ちあけた途端

わたしの てのひらかえした

薄情ぶり

ときたら

おお ジジ

わたしは 腹黒い きっと

イヤラシイ魔女なのヨ

ジジを 急に ひきさいて

パーベキュにしたいほど

憎くなったの

ゴリラのジジ

あなたがホントの人間で

わたしがニセの 魂も悪魔にうった

けものでなくてなんでしょう

## 戸塚混声合唱団20年の歩み

- 1985.10 前任指揮者 武部幸生氏の呼びかけで結成
- 1986.10 戸塚区民文化祭初出演 以降毎年参加
1987. 2 ヨコハマ・コーラルフェスト初出演 以降8回参加
- 1988.10 第1回演奏会(戸塚公会堂)  
「心の四季」高田三郎 他
- 1989.11 戸塚歌の仲間、ジョイントコンサート(女性フォーラム)  
「水のいのち」高田三郎 他
- 1990.11 第2回演奏会(女性フォーラム) オペラ合唱曲集 他
1991. 6 神奈川県合唱祭初出演 以降毎年参加
1992. 2 第3回演奏会(泉公会堂)  
「レクイエム」モーツァルト 共演：N響団友オーケストラ
- 1993.11 第4回演奏会(泉公会堂)  
「島よ」大中 恩 他
1995. 9 創立10周年第5回演奏会(泉公会堂)  
「筑後川」団伊玖磨、「マイ・フェア・レディ」フレデリック・ロウ 他
1997. 5 第6回演奏会(泉公会堂)  
「蔵王」佐藤真、「NÄNIE」ブラームス 他
- 1998.12 第7回演奏会(泉公会堂)  
「ニコライミサ」ハイドン 他
2000. 7 創立15周年第8回演奏会(鎌倉芸術館小ホール)  
指揮：武部幸生 「やさしい魚」新実徳美  
客演指揮：星野聡 ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」R・ロジャース
2000. 8 星野聡氏を常任指揮者に迎える
2002. 1 第9回演奏会(泉公会堂)  
「動物のカーニバル」寺島尚彦 他
2003. 9 第10回演奏会(泉公会堂)  
「レクイエム」デュルフレ 他
2005. 9 創立20周年第11回演奏会(鎌倉芸術館大ホール)  
「ドイツ・レクイエム」ブラームス 共演：鎌倉交響楽団 他

この他、ケアプラザ、養護学校への訪問演奏など、地域に根ざした活動をしています。

## 戸塚混声合唱団メンバー

常任指揮者 星野 聡 名誉団長 大西 研一 技術委員長 五月女 要  
 ピアニスト 矢野 門佳 団 長 清水 裕子  
 団内指揮者 浅井 敏信 事務局長 阿部 郁夫

### (ソプラノ)

熱田 布美 阿部美緒子 阿部 圭生 石崎 友梨 内田 久子 大久保静子  
 小川佐世子 小川 眞代 小澤實枝子 柿沼 碧 菊地 奈都 小池 照子  
 上坂 温子 河野美恵子 小松 諒子 小松 和子 佐藤 香子 車野 博子  
 高橋 隆子 多々良時子 田中 寿子 手島 幸子 中澤美紀子 原田 節子  
 日蔭 真美 久野 陽子 堀田美貴子 堀 たけ美 山本瑠美子 菅原由衣子

### (アルト)

荒井 和子 大原 祥子 川辺 直子 川村きよ子 清水 裕子 鈴木 洞子  
 須田さえ子 高田 静子 高田 淑子 高橋 博子 種 美津子 土屋ミナ子  
 福島 瑠子 福田 清子 原田 通子 守泉 好子 山崎 香織 山田 幸子  
 本多由未子

### (テノール)

阿部 郁夫 天海 清 大河内 徹 栗屋 肇 境田 昭一 新田 雄一  
 東田 喜光 久野 聡志 藤田 悌孝 船津 茂昭

### (バス)

浅井 敏信 飯田 徹夫 石川 守男 大西 研一 鈴木 英一 左藤 博  
 鈴木 龍朝 五月女 要 高嶋 威男 高橋 啓一 宗像 秀直 米岡 昭男  
 渡辺 健一 渡部 博道 渡辺 晴弥

### ♪ 一緒に歌いませんか ♪

練習日 毎週土曜日  
 場所 戸塚公会堂 他  
 団 費 月額3000円 入団金1000円(学生優遇)  
 問合せ TEL.045-802-0448(清水 裕子)  
 ホームページ <http://totsukon.at.infoseek.co.jp>

次回演奏予定曲 カールオルフ作曲

【カルミナブラーナ】

第11回演奏会実行委員長 渡部 博道  
 舞台監督 柴田 隆  
 合唱団ステージマネージャー 西島 直  
 アナウンス 小竹美恵子

プログラムデザイン 大久保宏美  
 印刷 (株)野毛印刷